
いつか夢見たアオイ空

Holzbein

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

いつか夢見たアオイ空

【コード】

N7670Q

【作者名】

Holzbein

【あらすじ】

波打ち際、ぼんやり佇む少女の御話。

ふと、砂浜に足跡をつけたくなった。靴を脱いで裸足になると、静かな波はまだ冬の温度がして、けれど水平線に沈む夕焼けはあたたかだった。

彼の夕焼けの温度はどうだったのだろうか？

私の空はいつもどこかありふれていて、青い空とか白い雲とか灰の曇り空とかちらちらと雪がふったりだとか、そんな大したことないソラ。いつか夢見たアオイ空なんてどこにもなくって、けれど今私が眺める夕焼けは、きらきら輝く宝石みたい。

それはきつと彼のせい。

ろくに話したこともない彼のせい。

けれど私に言葉をくれた、彼のせいなのだ。

なんとなく歩みをとめた。波の音が、やけに大きい。

彼の夕焼けは、その長い前髪の向こうだったろう。臆病に表情を隠して他人の気持ちを映さないようにしていた、彼のただひとつの夕焼け。

波の温度は冬の音。冷たくなった足に、よせてはひき、よせてはひきの繰り返し。

「意味がなければ意味を見つけ、変えられないのなら変わり、飛べないなら跳べばいい、か」

癖のように彼は謳っていた。自分に言い聞かせるみたいに、その時も謳ったのだろうか。

そして、だから一歩、踏み出したのだろうか？ もう騙ることが出来ないから、だから。

一瞬の跳躍、その意味は何だったのだろうか？ 飛ぶこともできない私達にとって意味があったのだろうか。

歩いてきた砂浜を振り返る。足跡は波に流され、ほとんど消えかけていた。

むなし。唐突に去来するのはそんな言葉／感情。

彼の一步は、結局何も変えなかった。彼に近しい人はほとんどい
なかつたからかもしれない。彼の一步がもたらしたのは、空々しい
涙だとか、関心の無い欠伸だとか、一時の話題だとか、その程度の
ものだった。変わったことと言えば、学校の屋上に入れなくなった
ことと、発行部数の少ない文芸誌から彼の名が消えたことくらいで、
彼の死に意味が生まれることは、ついぞなかった。彼が生きていた
時、私の中にそれはあつたのに。

「それがあるかないかじゃなくて、それを見つめるかどうかなのに」
こぼれた言葉は彼の言葉でしかなくて、私の言葉はいずこだろう？
ゆるりと夕焼けは沈んでいく。水平線の向こう、私に見えない、
けれど彼がいるかもしれないところ。

あたたかさがつめたさに変わる夜が来る。

それはあまりにも当然のこと。外の世界はいつもありふれていて、
一人がいなくなつたくらいではびくともしない。変わったように思
えるのは錯覚で、その時自分が変わったのだ。

そつとひとつ、足跡をつける。

昼と夜の間を、夕暮れの薄暗がりをおっかなびつくり歩いてい
た彼は、どつちを歩くことに決めたのだろうか？

ぱしゃり、また一步。

そして私は？

私はどちらを歩くのだろうか。

冷たい波の音。

柔かな月の光。

沈み切ってしまった夕焼け。

ふわりと潮風に流される髪。

「今を」

今を歩こう、と不意に思う。前も見ず、後ろも見ず、時々横目に
夕焼けを見て歩く、ただそれだけでいいと。

精一杯の強がりかもしれないけれど、そんな気がした。

またひとつ、足跡をつける。
きつとまた、足跡は消えるのだろう。
後ろに足跡は残らないし、先に足跡はまだないのだ。
またひとつ、足跡をつける。
私には今の足跡しかないのだ。
一歩分の足跡が、今なのだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7670q/>

いつか夢見たアオイ空

2011年10月8日03時10分発行